

# CSR CALENDAR 2010

NIPPON STEEL ENGINEERING Corporate Social Responsibility 2010

## 去年のエンジを超えてゆけ!

視野を大きく広げて、社会や環境ともしっかりと触れあうことで、会社として高い次元へと歩を進めたい。

そんな思いから、私たち新日鉄エンジのCSR活動はスタートしました。

まずは社員全員にCSRという意識を浸透させることと、自分たちらしい活動を模索することを目指した《CSR元年》。1年間の活動を振り返ります。



本業としてのCSR



本業と支え合うCSR

4月

《馬鞍山中日資源再生工程技術有限公司》を中国に設立。製鉄所内発生ダストのゼロエミッション化に寄与する回転炉床式ダストリサイクル設備 (RHF) 拡販が目的



4月  
April

4/1 CSR推進体制のスタート

経営企画部にCSR室を新設。また、全社運営機構として社長を委員長とするCSR委員会、その下部委員会としてリスクマネジメント委員会、人財委員会、安全衛生・環境委員会を設置。

4/20 社会貢献タスクフォースチーム発足

3W① CSRの一部である社会貢献活動の推進にあたって、各部門から代表を集めたタスクチームを結成。チーム名は「近江商人の三方良し」の精神にちなんで3W (トリプルウィン) に決定しました。



CO<sub>2</sub>回収試験プラント (30トン/日) (新日本製鉄(株)君津製鉄所第4高炉に設置)

ベトナム/カントー橋工事開通式典



5月  
May

5/28(大崎)・6/4(戸畑)

女性活躍推進セミナー

ベストセラー「7つの習慣」をベースにした女性社員向け研修。「仕事でもプライベートでも自分の行動を自分で選択する大切さを実感しました」(受講者談)



5/17~ CSRセミナー開始

78% グループ各社も含め、ほぼ全社員が受講したCSRセミナーでは、世界の水資源の現状や、それをめぐる社会ビジネスなど、社会・環境と企業活動の関係について具体例を紹介。「社会的責任と聞くと構えてしまいが、CSR=カンパニーとステークホルダーとのリレーションシップととらえればよい」と外部講師が締めました。受講前はCSRを知らなかった人が半数以上もいましたが、セミナー後に実施したアンケートでは78%の社員が「理解が深まった」と回答。また自由回答では「仕事への誇り、人が財産」が自慢できる一方で、「コンプライアンスの徹底、ワークライフバランス」は自慢できないという結果になりました。



経済人コー円卓会議日本委員会 事務局長の石田寛氏

5月 呉港阿賀地区道路(1号線)橋梁上部工事

6月 少量水対応高効率地中熱利用ヒートポンプシステムの開発で産官学連携功労者表彰環境大臣賞を受賞

7月 海洋構造物の高耐食性ステンレス鋼ライニング溶接技術により日本溶接協会賞技術賞本賞を受賞



6月  
June

6/1~30、本週間7/1~7)

スローガンは「みんなで進めようリスクアセスメント/めざそう職場の安全・安心」。安全衛生・環境委員会にはライン部長も参加し「より安全に強い会社作り」を追求していきます。

7/13 女性活躍推進講演会(ENカレッジ)

ENカレッジとのコラボ企画として、「女性の品格」著者の坂東眞理子氏を講師に迎え開催。本社以外からの参加希望に応え、テレビ中継もおこなわれました。



※社外講師を招いた講演会と懇親会。エンジニアリング会社の社内カレッジということで、「ENカレッジ」と命名。

第4回社内満足度調査

全体としては前々年とほぼ同様の結果に。「仕事にやりがいを感じている」「会社に誇りを持っている」は他社平均を大幅に上回る一方で、「ワークライフバランスのさらなる充実」などの課題も浮き彫りになりました。(最終面参照)

8/20~22 居木神社夏祭り協賛(NSEC/NSPL)

地域貢献として地元町会を通じて奉納金の寄付と提灯の献灯。大崎オフィスに近い小野原副社長ほか有志はお祭りも堪能。



6月 環境月間の活動(①②③)

マイ8% ①42事業所を対象に環境パトロールを実施。法令に準じた処理手続きが確実に実行されていることを確認。②改正省エネ法(H22.4施行)を受けて職場の省エネを試行し、その対策前後のデータを15事業所から収集。移転した本社を除くとオフィス部において8%の削減が検証できました。③「環境家計簿づくり」と「CO<sub>2</sub>削減アイデア」の募集。各20件の応募が寄せられました。

ビルサイン消灯(環境月間④)

8:00P 2003年から環境省が呼びかけている「ライトダウンキャンペーン」。照明を消すことによって、日頃の生活でいかに多くのエネルギーを使用しているかを実感する目的です。本社と戸畑においても、このキャンペーンに参加。夏至と七夕の午後8時、周辺の参加企業とともに、ビルのサインを消灯しました。

「不都合な真実」上映会(環境月間⑤)

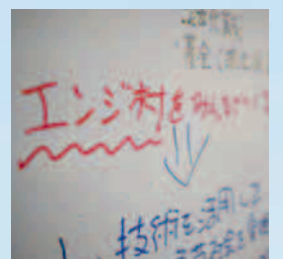
上映96分 地球温暖化の問題に取り組むアル・ゴアの講演を記録したドキュメンタリー映画「不都合な真実」。いま地球に起こっていることや経済と環境のバランスをとる大切さなどが、分かりやすくまとめられています。本社と戸畑で開催した上映会には、約200名が参加。「意識が変わった」「ぜひ通年で実施していくべき」など多くの意見が寄せられました。

「不都合な真実」スペシャル・コレクターズ・エディション ¥2,625(税込)/発売元:パラマウント ジャパン



7月 CSR検討合宿~社員アンケート~社会貢献を考える会

3W② 7/1~2、3WのメンバーでCSR検討合宿を実施。他社訪問でヒアリングした内容の共有、社員向けCSRセミナーのアンケート結果分析などを踏まえた上で、新日鉄エンジならではの社会貢献活動を徹底討論しました。その中で策定された「7つの活動案」について、賛否や参加の意思を社員アンケートで集計。さらには「社会貢献を考える会」と題して、本社・戸畑で計5回、35名の社員たちによる本音での意見交換をおこなわれました。



7/31 富津フェスティバル

家族45名 富津にある技術開発研究所において、親子見学会を開催しました。実際の巨大な試験装置を見学したり、仕事や商品を紹介する展示に見入ったり。好奇心の強い子供たちにとって、物づくりの技術に触れられる研究所の見学は、夏休みのいい思い出になったようです。



8/5 大崎フェスティバル

家族186名 職場めぐり、羽矢社長(当時)との名刺交換会、設計体験コーナーなど、たくさんの子供たちが、昼間のパパ・ママのカッコイイ(?)姿を見学。その後は16Fホールへ場を移し、駄菓子や料理の屋台、じゃんけん大会などを楽しむ、子供たちの歓声が響く1日となりました。



8月

ブラジル ウジミナス社/厚板ライン向けホットレベラー、CLC設備

さがみ縦貫宮山高架橋工事

設計・施工を担当した日本鑄鍛鋼(株)本館が日経ニューオフィス賞を受賞

8月  
August

